



第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

- 方針1** 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 方針2** “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する
- 方針3** 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

市川市立塩浜学園・院内学級校舎供用開始

本市では、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念に掲げ、社会の変化を見据えた、市立小・中学校・義務教育学校・特別支援学校の教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進しています。

平成28年4月に義務教育学校となった塩浜学園の建替えは、教育効果をさらに高めるため、児童生徒の安全と良好で質の高い、充実した教育環境を備え、4-3-2制の学年ブロック形成に対応した施設整備を目的とし、平成30年から3か年にわたる校舎の一体化整備を行っています。

今年8月に校舎棟及び屋内運動場(体育館)の供用が開始され、来年4月に校庭を含めた全ての施設の供用が開始される予定です。

また、老朽化が著しく、施設自体も狭隘な、国府台病院の院内学級の校舎を建て替え、良好な環境を整備しています。新校舎の延べ床面積は、これまでの2倍以上となり、普通教室の増設のほか、特別教室、屋内運動場も新設します。今年3月から着工し、9月に供用が開始される予定です。



【塩浜学園完成イメージ】



【院内学級校舎完成イメージ】

道端の神様に健康への願いを

私たちが普段何気なく通る道路の片隅には、昔からご利益があるとされる祠や石塔がみられることがあります。今回は風邪などの病気に関係する道端の小さな神様を紹介します。

市内国分には、「腹切り様」という少し怖い名前では呼ばれている神様があります。昔この場所で切腹をした武士を祀ったと伝えられていますが、なぜか「咳の神様」として祀られ、咳がひどい時は毎朝お茶と線香をあげて拝んでいると効果があり、完治した後は必ずお礼にお酒をお供えするといひます。



腹切り様(国分二丁目)



こんこん
のんのん様
(下貝塚2丁目)

また、下貝塚には「こんこんのんのん様」と呼ばれる風邪の神様が祀られています。石塔には安永2年(1773)の記録があることから、約250年前からあることがわかります。この由来は、昔この場所で風邪のために亡くなった老人が、ある村人の夢枕に立ち「私はこんこんと咳で死んだ。どうか私を祀ってください。」と告げたのがはじまりのようです。

これらの神様には、現在でも花や水、お酒などがお供えされており、数百年にもわたり、風邪の平癒や健康を祈り、大切に祀ってきた人々の信心がうかがえます。

【歴史博物館】

すごいぞ！ 昆虫!!

～「チャレンジャー・スクール」で学ぼう～

少年自然の家が主催する「チャレンジャー・スクール」は、市内の小学4～6年生が参加する自然体験プログラムです(今年度は中止)。虫捕りや野外炊事、集団宿泊などの活動を通して、自然との付き合い方や友達との交流の大切さを学ぶことができます。プログラムは全5回あり、今回は昨年度の第2回目「虫をとろう科」を紹介します。

日中は自然博物館の学芸員の講習を受けて、採集スタート。「〇〇を捕まえたよ。」「こっちに△△がいるよ。」など、夢中になって活動する子供たち。

夕食後はホタル鑑賞に出かけ、「初めて見た!」「こんなにきれいだなってびっくり!」と興奮と感動を味わいました。

友達との仲を深めることはもちろん、協力することや規律を守ることも忘れずに生活したこの一日で、子供たちが大きく成長したことは間違いありません。

毎年大人気の事業です。来年度はぜひ参加して、その魅力を味わってみませんか。申し込みをお待ちしています。

【青少年育成課】



「学校環境調整課」が新設されました

今年の4月から新たに設置されました学校環境調整課です。私たちの課では、今後、学校を建て替える際に必要となる、市川市が目指す将来の学校のビジョンや、学校施設で充実すべき機能などを整理した計画の作成を行います。また、義務教育学校の設置など、学校教育に関する重要な施策の企画立案や調整を行ってまいります。子供たちに最適な学校環境を提供できる未来の学校づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【学校環境調整課】

